

学校通信



伊野小学校

◆ようこそ留学生

伊野小には7月から2人の留学生が来てくれました。1人はカリフォルニア州から来たグルーブ・ジョージさんという高校3年生の男の子で、もう1人はニューヨークから来た高岡絵行（たかおかえこう）さんという高校2年生の男の子です。

2人とも日本語がとても上手で、子どもたちからも大人気でした。お別れの集会ではジョージさんが8才の頃から始めたというバグパイプの演奏も聴かせてくれました。

ジョージさんは2週間、絵行さんは3週間という短い期間でしたが、2人と触れ合えたことは子どもたちにとってもとても良い経験となったと思います。



◆平和集会

7月4日、全校で平和集会を行いました。日本赤十字社の村越麗さんにお越しいただき、「世界で生きる子どもたち」という題でお話をいただきました。

「日本赤十字社がどうしてできたのか」「どんな活動をしているか」というお話に続き、日本は今、平和だけれど世界中では今も争いが起きているという話を写真で見せてくれたら話してくださいました。

戦争のために国を出ることを余儀なくされた難民のことや犠牲になっている子どもたちのこと、残された地雷の恐ろしさなど、難しい内容をやさしい語り口で分かりやすく話してください、みんな、最後までしっかり聞くことができました。

平和集会後に書いた感想には、地雷（戦争）がふつうに暮らしている人の命をうばってしまうことへの悲しさや、難民の子どもたちへの思いを馳せて自分にできることは何かということなどがたくさん書かれました。

伊野南小学校

◆辞書引き大会

7月5日に伊野南小学校図書館において図書委員会主催の第1回辞書引き大会が行われました。3年生以上の学年から3名ずつ代表が出て5分間に何問引くことができるかを競うものです。

この日に向けて、代表となった子どもたちは積極的に辞書を使い練習を重ねていました。また、図書委員の子どもたちも自分たちの力で運営するための準備を早くから行っていました。

ました。

いよいよ本番が始まり、図書館には代表の子どもたちとそれを見守る図書委員さんや先生方がいっぱいでしたが、ピンと張った空気の中辞書をめくる音だけが響き渡っていました。静かなそれでいて白熱した5分間が終わり、図書委員さんが採点を速やかに行いました。表彰状は3位まで作り、部長の6年生が各教室を訪れ直接手渡しして終了となりました。

それぞれの全力が発揮できた素晴らしい取組となりました。これを機会にもっともっと全校のみなさんが辞書に親しんでいければと思います。第2回も楽しみになりました。



神谷小中学校

◆グループホームの訪問

本年度から神谷中学校では、校区にある3つのグループホームを各学年が担当し、訪問学習を始めました。これは、7月10日に高知新聞でも取り上げていただきましたのでご覧下さった方もいらっしゃるでしょう。小学1〜4年生の「るるるん若ガエル体操」での訪問や、5・6年生の「子ども民生委員活動」での学習を、中学校へとつなげていく学習

です。ここでは、中学生の感想の一部を紹介します。

中1【グループホーム柳瀬】

◆昔のおやつなども食べて、戦争の大変さも知れた。

◆みんなと一緒にしりとりやボーリングができた。みんなが難しい言葉を知っていてびっくりした。

中2【グループホーム加田】

◆今回、グループホームへ行ってたくさん知れたことがあったので、次回ももっと良くできないか考えておこうと思います。

◆話すのが楽しかったから2学期が楽しみ。昔の歌を覚えて、一緒に歌いたい。

◆自分たちが行って、皆さんが笑顔で迎えてくれたのでうれしかった。

中3【グループホーム福寿の家】

◆たくさん話を聞いてくれたし笑顔で終わることができた。

◆すごく笑顔で泣いている人がいたので、すごく嬉しそうにしている良かった。

◆たくさんの方が笑顔になれた。

◆おじいさん、おばあさんと話をしたり、遊んでとても楽しかった。また行きたいです。

